

第5章 成績評価

1. 成績評価

各授業科目の評価は、その科目の授業担当者が行います。成績は、AA・A・B・C・F・出席回数不足・評価不能および認定の評価が与えられます。AA・A・B・Cおよび認定が合格、F・出席回数不足および評価不能が不合格です。

●成績評価の達成水準

評点	評価	合否	達成基準
100～90	AA	合格	学習目標を十分満たし、秀でている
89～80	A	合格	学習目標を満たしている
79～70	B	合格	学習目標をほぼ満たしている
69～60	C	合格	合格と認められる最低水準を満たしている
59～0	F	不合格	合格と認められる最低水準を満たしていない
出席回数不足	F(OC)	不合格	下記参照
評価不能	F(UG)	不合格	

●中間評価：「*」（アスタリスク）が記載されている評価

通年科目によっては、前期終了時点での中間評価を行うことがあります。通年科目における前期評価が出席回数不足以外の場合は、その前期評価にかかわらず、最終的に単位修得できるか否かは後期終了時点での評価によって決まります。

●出席回数不足：F(OC)

欠席が授業回数の3分の1を超えたと授業担当者が判断した場合、評価は「出席回数不足」となり、単位修得はできません。

通年科目については、前期終了時点での欠席が通年の授業回数の3分の1を超えると授業担当者が判断した場合、出席回数不足となり中間評価の時点で評価が確定するので単位修得はできません。（単位修得要件（⇒p.17））この場合、その授業の履修資格は失われないので、履修を継続することは許可されます。

●評価不能：F(UG)

履修科目について、授業担当者が成績評価を与えることができない場合、評価は「評価不能」となり、単位修得はできません。

通年科目における前期評価が、評価不能（成績通知書の記載：F(UG)*）の場合、最終的に単位修得できるか否かは後期終了時点での評価によって決まります。

評価不能となるのは、次の場合です。

- (1) 卒業論文について、提出しなかった場合
- (2) 成績評価時の在籍状態が、休学・退学・留学のいずれかの場合

- (3) 試験および提出したレポート、出席確認等において不正行為を行ったと認められた場合

また、次の場合も評価不能となることがあります。

- (4) 試験を受けなかった場合
- (5) レポートを提出しなかった場合
- (6) 追試験・追審査を許可されたにもかかわらず受けなかった場合
- (7) まわりの学生に迷惑をかける等、受講態度に問題があり、教職員等から指導を受けても改善が見られない場合

●評価における特記事項

- (1) 追試験および追審査の成績評価は、AAを除く、A・B・C・Fのいずれかとなります。
- (2) 再試験の成績評価は、AA・A・Bを除く、C・Fのいずれかとなります。
- (3) 卒業論文の成績評価は、AA・A・B・C・Fのいずれかとなります。卒業論文を履修登録し、期日までに提出しなかった場合は、「評価不能」となります。
- (4) 編入学時や留学等で認定された単位は、成績証明書・成績通知書等の成績評価欄には「Tr.」と表記されます。
- (5) 継続履修申請が受理された通年科目は、前期評価については、通常の評価が行われますが、申請年度の学年末の評価は、「継続履修」となり、単位は修得できません。留学後に継続履修が認められなかった場合、あるいは継続履修を取り止めた場合は、この「継続履修」は変更されません。留学後に、継続履修が認められ、後期分の履修を再開すれば、留学前に履修した前期分とあわせた成績評価が後期履修後に与えられます。

2. GPA制度

GPA制度は、学生自身が学習成果を把握することによって、主体的に学修を進めていくことを目的とした制度です。

(1) GPA (Grade Point Average) とは

GPAとは、成績評価(AA・A・B・C・F)をポイント(GP: Grade Point)に置き換えて、科目の単位数をかけ、その総和(GPT: Grade Point Total)を履修登録単位数の合計で割った平均値のことです。

成績評価	グレード・ポイント (GP)
AA	4
A	3
B	2
C	1
F、F (UG)、F (OC)	0

(2) GPA算出計算式

$$\frac{AAの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1}{総履修登録単位数}$$

※中間評価は対象外

※小数点第3位を四捨五入し小数点第2位までの数値を表記

※不合格科目 (F評価) を再履修し合格の評価を得た場合、最初のF評価を含め全ての評価をGPAに算入します。

※通年科目のF (OC) は前期中間評価でも成績が確定しますが、後期が終了するまではGPAに算入されません。

(3) GPA対象科目

卒業要件となる科目 (全学共通/必修分野、専攻課程分野、卒業論文)

※卒業要件となる科目は入学年度、学科により異なるので各履修要項で確認すること

(4) GPA対象外の科目

- ・編入学、留学等により認定された科目 (評価=Tr.)
- ・継続履修申請が受理された通年科目 (評価=継続履修)
- ・卒業要件外「資格関係分野」の科目

※所属学科により対象科目が異なります。各学科の履修要項の【履修上の諸注意】卒業要件外の科目をよく読み、卒業要件外の科目を確認してください。

(5) 成績通知書・成績証明書への表示

- ・入学してから現在までの全ての成績をもとに計算する「累積GPA」を記載します。
- ・成績通知書、英文の成績証明書には記載されます。
- ・和文の成績証明書には記載されません。

3. 成績通知

(1) 学生本人への通知

成績通知は、下記の日程にてSophieで配信します。

【学生本人への成績通知日】

	配信対象者	成績通知日
前期成績	学部生、大学院学生、交換留学生、科目等履修生、委託聴講生	2019年 9月4日(水)
後期成績	学部1・4年次生、修士2年次生、博士2・3年次生、交換留学生、科目等履修生、委託聴講生	2020年 2月12日(水)
	学部2・3年次生、修士1年次生、博士1年次生	2020年 3月10日(火)

※9月に開講される集中講義や、留学などにより他大学で修得した単位の認定は、上記とは異なる日程で通知することがあります。

※保育実習Ⅱ及び保育実習指導Ⅱは、3月末の通知になります。

(2) 保証人への通知

保証人に対する成績通知は、学期ごとに郵送で行います。保証人への成績通知を希望しない場合は、学期ごとに授業終了日までを期限とし、教務課での手続きが必要です。手続きが完了したら、保証人宛に成績通知書は送付しませんが、『学生本人の希望があったので成績通知書は送付しない』旨を通知します。なお、博士後期課程に在籍する学生の保証人へは郵送しません。

【保証人への成績送付日】

	送付対象者	成績通知日
前期成績	学部生、大学院学生の保証人	2019年 9月4日(水)
後期成績	学部4年次生、修士2年次生の保証人	2020年 2月25日(月)
	学部1～3年次生、修士1年次生の保証人	2020年 3月10日(火)

(3) 成績通知書の見方

- ・AA・A・B・CおよびTr.が合格、F・F (OC)・F (UG) および継続履修が不合格
- ・「*」(アスタリスク) が記載されている評価は通年科目の中間評価で、確定点ではありません
- ・履修登録済みの科目のうち、前期終了時に成績評価が与えられていない科目の評価欄は【履修中】と表示

【右側の欄】

	記載内容
学部1年次生	進級要件、および、これまでに修得した単位、履修中の単位の集計を記載
学部2～4年次生	卒業要件、および、これまでに修得した単位、履修中の単位の集計を記載

成績通知書の評価

	最終評価	中間評価	備考
合格	AA	AA*	
	A	A*	
	B	B*	
	C	C*	
	Tr.		認定科目
不合格	F	F*	成績証明書には記載されない
	F (UG)	F (UG)*	成績証明書には記載されない (評価不能)
	F (OC)		成績証明書には記載されない (出席回数不足)
	継続履修	継続履修	成績証明書には記載されない

4. 成績評価確認願

成績評価について、具体的な根拠に基づく確認事項がある場合には、定められた期間内に「成績評価確認願」を教務課に提出することができます。

	「成績評価確認願」受付期間	対象者
前期成績	2019年9月4日(水) ～ 9月19日(木)	学部生、大学院学生、交換留学生、科目等履修生
後期成績	2020年2月12日(水) ～ 2月13日(木)	学部1・4年次生、修士2年次生、博士2・3年次生、交換留学生、科目等履修生
	2020年3月10日(火) ～ 次年度授業開始前日	学部2・3年次生、修士1年次生、博士1年次生

[注意] 期間外の申し出は一切認められません。

[注意] シラバスの評価方法欄に記載された評価基準と照らし合わせ、具体的な根拠に基づいていることが必要です。

またこの申し出は、成績評価の確認を求めるものであり、成績評価への異議や再考を求めるものではありません。したがって、以下のような理由による「成績評価確認願」の提出は受け付けません。

- ①再考を求めるもの。
- ②担当教員に情状を求めるもの。
- ③他の学生との対比のうえ不満を訴えるもの。(「友人はA評価だが、なぜ自分はC評価なのか」など)
- ④具体的な内容の記載がないもの。(「自分なりの努力はした」など)

5. 学業不振者への対応

(1) 対象者

次の条件に該当する学生は、1年次センター及び各学科において前期履修登録前に面談を実施し、修学支援を行います。

1年次	①1年次の修得単位が20単位未満
2年次	①前年度の不合格科目数が5科目以上 または ②合計単位数が30単位未満 または ③英語および第二外国語がまったく修得できていない
3年次	①前年度の不合格科目数が5科目以上 または ②合計単位数が60単位未満 または ③英語または第二外国語がまったく修得できていない、両方に未修得分がある
4年次	①前年度の不合格科目数が5科目以上 または ②合計単位数が90単位未満 または ③英語または第二外国語に未修得科目がある

(2) 面談を担当する教員

1年次生……1年次センター長

2年次生～4年次生

……所属学科代表委員または所属学科の教員

(3) 保証人への連絡

学生との面談が実施できなかった場合、教務課から保証人に連絡します。

6. 進級・卒業要件と自己判定について

●進級要件(在学期間を除く)について…2018年度以前入学者対象

在学期間以外の進級要件は、学部1年次のみ以下の通り定められています。(⇒p.18、基礎課程と進級要件)なお、進級できなかつた場合は、その旨を本人及び保証人に通知します。

学部2年次への進級要件	最低20単位(卒業要件外単位を含む)を修得していること
-------------	-----------------------------

●進級要件(在学期間を除く)について…2019年度以降入学者対象

在学期間以外の進級要件は、学部1年次と学部3年次で以下の通り定められています。修得できない場合は進級できず、4年次指定科目の履修登録ができません。そのため4年間での卒業はできません。進級が許されない条件などの詳細はp.4の「3. 本学での履修における要件」を参照してください。

なお、進級できなかつた場合は、その旨を本人及び保証人に通知します。

学部2年次への進級要件	1年次終了時に最低20単位(卒業要件外単位を含む)修得していること
学部4年次への進級要件	3年次終了時に最低82単位(卒業要件外単位含まず)修得していること

ただし、3年次終了時に82単位修得できない者で、3年次終了時に72単位以上修得しており、かつ、3年次終了時の累積GPAが2.5以上の者は4年次への進級が特別に認められます。

●卒業・修了要件(在学期間を除く)について

在学期間以外の卒業・修了に必要な科目および単位数は、所属の学科によって異なります。自分が所属する学科のカリキュラム(⇒pp.60-206)を熟読し、要件となっている科目および単位数の修得を目指してください。

●Sophieによる自己判定機能について

(1) 自己判定機能とは

現在履修中の科目を「合格」とみなして判定する機能です。この判定機能は目安であり、進級・卒業を保証するものではありません。判定結果についての質問、進級・卒業要件に関する相談は教務課窓口で受け付けます。

(2) 自己判定機能の注意点

■特殊な履修などは、正しく計算されないケースがあります。

■通年科目の中間評価で出席回数不足「F(OC)」と評価された場合は、前期終了時点で評価が確定になり、単位修得はできません。しかしながら、システム上は通年科目の期間終了時点まで成績評価が確定にならないため、自己判定では「合格」という結果になってしまいます。Sophieの履修成績照会で成績評価も必ず確認するようにしてください。

(3) 自己判定機能の利用対象者と利用方法

利用対象者：学部生、大学院学生

※交換留学生、科目等履修生は利用できません。

自己判定機能の利用は、Sophieにログインして行います。履修登録期間中は、正しく表示されない場合があります。

7. 成績証明書

成績証明書とは、履修した科目のうち、単位を修得した科目の成績評価のみが記載されており、証明書として対外的に発行される書類です。中間評価、および、不合格の科目は記載されません。

(成績通知書は履修した全科目の成績評価が記載されており、学生本人に通知されるものになります。)

8. 卒業見込証明書の発行基準について

卒業見込証明書とは、その年度の3月に大学を卒業する見込みであることを大学が証明する書類です。4年次に進級し就職活動をする際には、企業等から提出を求められることがあります。

「卒業見込」とは、4年次に履修登録した単位を修得することにより、年度末には卒業所要単位を満たし卒業が可能と見込まれる状態を指します。3年次終了時において、卒業所要単位のうち82単位以上を修得できていない場合は、卒業が見込まれないこととなりますので、卒業見込証明書は発行されません。

(⇒p.22、登録単位数の上限)